



第52号
平成31年3月31日発行
発行所
賀露地区公民館
印刷所
日ノ丸印刷KK

『日本遺産』に認定 北前船関連で賀露神社と構成文化財

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落として、平成三十年五月二十四日付けで、賀露神社構成文化財が、北前船寄港地関連で「日本遺産」に認定されました。

具体的な構成文化財としては、
①賀露神社②上小路神社③賀露神社春季祭礼行事④鳥ヶ島⑤賀



北前船入港（鳥ヶ島）明治30年頃



日本遺産認定証

【北前船】
江戸時代後期から大正時代前半にかけて、日本海航路で北海道と大阪を積み荷で商売をし、活躍した帆船のことで、海の総合商社的な役割を果たした。広範囲の物流ネットワークを構築し、途中の寄港地を結んで経済圏が形成された。



賀露神社

【賀露神社】
七〇〇年初め頃勧請された神社で、一三〇〇年の歴史をもつ神社。境内には、北前船関連の文物がある。
●石灯笼一対：寛政十二年（一八〇〇）に当村廻船中が寄進したもので、石工が尾道勘十郎で、北前船で運ばれたものである。同じ石工の作った石鳥居が享和二年（一八〇二）当村・木屋長兵衛寄進で、上小路神社に建立されている。
●神社参道：越前三国湊から北前船で運ばれた石で、福井石（笏谷石）呼ばれ、雨でぬれると緑色になる石である。
●大いかり：二基あり、一基は江戸時代末頃に寄進されたもの。一基は鳥取砂丘沖の海中から昭和三十年頃引き上げられたもので、石や貝が付着している。
●賀露明神の宮銭文書：北前船で鳥取城下町へ運ばれた瀬戸内海地方の塩、十俵に付三文の宮銭を神社へ運上した際の記録古文書で、数十年分が残っている。

【賀露神社春季祭礼行事】
約三〇〇年の歴史をもつ海上みこし行列のことで、「ホーエンヤまつり」と呼ばれている。江戸時代の権現まつりの行列体系をよく伝えていて、鳥取県無形民俗文化財に指定されている。
吉備真備を救助して、後に神社へ祭祀したという物語を再現している祭り行列といわれて、二年ごとに大祭を行っている。

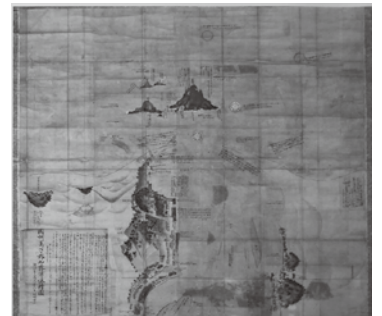


上小路神社

【鳥ヶ島】
港町賀露を象徴する島で、九世紀中頃、遣唐使・吉備真備が漂着され、村人がお助けしたと伝えられている島でもある。島の頂上に祠があり、古くより灘まつりと頂上祭が行われ、今に至っている。
北前船をはじめ船の風よけにも利用されてきた島で、船をつなぎとめた「ハナグリ」がある。古書には「島人参」「千畳カ平ル」の記録もある。



賀露神社の御船（北前船5分の1）
185年前建造



因州高草郡加露湊絵図

【因州高草郡加露湊絵図】
賀露神社が所蔵する絵図で弘化二年（一八四五）に描かれたもの。賀露の湊について、水深や地形などを細かく記されており、江戸時代の賀露の港の状況を見る上で貴重な資料である。
絵図には船が港に進入するために必要な係留場所や水深をはじめ、その場所を船が通行するための条件等が詳細に書かれている。
【賀露港の町割り】
急斜面につらなる家々。道なき道を通り港や浜に下りていく。港町特有の町割りを今に残している、町人の絆や営みのつながりを感じさせている。

自治会

賀露町の課題・

問題を語る会

賀露町の自治会・各町内会、地区公民館・各種団体はそれぞれに事業を企画立案し、毎年取り組んでいます。一つの事業が一本の「木」だとしたら、一つの団体が行なっている何本かの事業で「林」になり、各種団体の「林」が寄り集まって賀露全体では大きな「森」になります。その森の「姿・形」が、賀露町の将来の「課題」や町民が解決を求めている現在の「問題」に対応していることが大切ですが、それぞれの団体は、自分の「林」の手入れはしても、「森」がどのような姿になっているのか、外から観察することはなかったと思います。このあたりで一度、自分の「林」を出て、皆と一緒に外から「森の姿」を観察する必要がありますがあると考え、平成三十年五月より四回全体会を開き、分科会を三つに分けそれぞれが三・四回会合を持ち、「解決すべき点」「解決緊急度」をみつけ出しているところですが、平成三十一年はそれを解決すべき年になると思います。

語る会メンバーを分科会別に紹介します。

分科会メンバー

【第一分科会】

- | | |
|--------|-------|
| 自治会 | 石黒副会長 |
| 自治会 | 美川 |
| 公民館 | 岸主事 |
| 上浜 | 藤田区長 |
| 西浜 | 石黒区長 |
| 交通安全 | 雲坂 |
| 子ども助成会 | 田中 |
| 環境衛生部 | 土山 |
| 防犯協議会 | 川上 |
| 体育会 | 伏野 |
| 消防団 | 清水 |
| 教育振興会 | 加藤 |
| 民児協 | 田中 |

【第二分科会】

- | | |
|---------|------|
| 自治会 | 深沢会長 |
| 自治会 | 新川 |
| 公民館 | 荒川主事 |
| 一区 | 小谷区長 |
| 二区 | 大黒区長 |
| 三区 | 泡田区長 |
| 七区 | 森原区長 |
| 老人クラブ | 岸下 |
| 婦人会 | 外山 |
| 食育推進 | 中谷 |
| 文化保存会 | 岡村 |
| みなどオアシス | 古網 |

【第三分科会】

- | | |
|-------|-------|
| 自治会 | 梶副会長 |
| 自治会 | 雁津副会長 |
| 公民館 | 山根館長 |
| 公民館 | 岸主任 |
| 四区 | 宮本区長 |
| 五区 | 芥島区長 |
| 六区 | 宮本区長 |
| 八区 | 上根区長 |
| 健康づくり | 石黒 |
| 保護司 | 景山 |
| 観光協会 | 浜下 |



臭気問題

平成三十一年・三十二年度役員

- | | |
|------|-------|
| 会長 | 深沢 修一 |
| 副会長 | 石黒 隆夫 |
| 理事 | 梶 卓美 |
| | 雁津 敏明 |
| 一区区長 | 小谷 拓 |
| 二区区長 | 玉江 昭夫 |
| 三区区長 | 泡田 秀美 |
| 四区区長 | 宮本 清 |
| 五区区長 | 岸 博道 |
| 六区区長 | 網本 省悟 |
| 七区区長 | 森原すみ子 |
| 八区区長 | 小玉 健 |
| 上浜区長 | 藤田 聡 |
| 西浜区長 | 石黒 智 |
| 監事 | 大黒 進 |
| | 芥島 寿美 |
| | 上根 愛蔵 |
| 顧問 | 島谷 龍司 |
| | 雲坂 衛 |
| 事務局 | 美川 裕教 |

永い間 お疲れさまでした

このたび、宮本利行(六区)、新川昌利(四区)、岸下喜八郎(一区)、坂口利彦(二区)、新川輝義(四区)のみなさまが退任されました。みなさまは、理事・監事・事務局長とそれぞれの立場で賀露町自治会発展のため大変ご尽力いただきました。心よりお礼申し上げます。

ただきました。心よりお礼申し上げます。

退任されました方々のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

自治会では、毎月理事会を開催しています。

町民の皆様には、回覧にて協議・報告内容を「お知らせ」として報告させて頂いています。

また、平成三十一年二月より自治会にインターネット接続が行われました。何年か先にはホームページ開設に努力していきます。

ご期待下さい。臭気問題、防災関係、町民の皆様のご関心のある問題等は「お知らせ」で報告していますのでよろしく願います。また、公民館のホームページに「お知らせ」を載せていますのでご覧ください。



防災研修

まちづくり協議会

活動の活性化と連携にむけて

協働のまちづくりに向けて「賀露地区コミュニティ計画」が作成され四年目となりました。本年度より協議会の会員に、賀露地区保護司、鳥取・賀露みなどオアシスが加わり十九団体となりました。賀露地区の各種団体の活動は、歴史もあり充実していますが、更に各種団体が連携をとり賀露地区の活性化を目標に取り組んでいます。

本年度は、民生委員児童協議会を中心に「賀露地区子ども見守り隊」が立ち上げられ、登下校の子どもを見守るため、町民への協力をお願いしました。

また、環境部を中心に環境意識向上のため、施設見学会を実施しました。

恒例となってきた世代間交流「いっしょにあそばあや」は、子ども助成会、体育会、老人クラブ、健推、食育と連携し子どもと大人の交流の場となりました。教養講座では、片山芳實氏（七区）の中国のお話や幕末歴史講座等を行いました。本年度は、町民のサロンとして、無料コーヒーを公民館ロビーに設置しました。多くの方にご利用頂き、皆さまが気軽に集える場所になる事を願っています。

願っています。

今後の課題として、各団体、各區でできにくくなっている行事をまちづくりの行事としてできないかという意見も多くあります。そこで、本年度より、ワーキンググループが発足され、今後の課題検討を進めていく事になりました。

また、価値観の多様化、核家族や少子高齢化の進展による人口構造の変化に対応できる活動が必要となっています。今後も町民のみならず共に健康で明るく魅力あふれる「まちづくり」をめざしていきましょう。

平成三十年度 主な活動

- 「賀露地区子ども見守り隊」立ち上
- 町民サロン 無料コーヒー設置
- 世代間交流
- いっしょにあそばあや
- 環境学習エコバスツアー
- 子育て応援事業
- さかなをさばいて食べよう
- はじめましてお友だち①②
- 教養講座
- 中国茶を飲みながら①②
- スマホ教室 幕末歴史講座

会長

深澤 修一

事務局長

山根 一記



子ども見守り隊



都合のつく日、時間に「おはよう」「おかえり」子どもたちへ声かけをお願いします。参加の方にベスト、横断旗をお渡しします。

教養講座



中国茶を飲みながら①②
講師 片山芳實氏（七区）
片山さんの経験に基づいた中国の今昔についてお話を聞きました。

魚をさばいて食べよう



魚のお腹の中は、こんなになっるとるだけだかあ。子どもと一緒に魚をさばけることが、良かった！

新五区公民館が完成



旧公民館が強い地震により倒壊すると、の診断に、修理か新築かと平成二十五年から六年間討議し、平成三十年十一月に完成しました。苦労して育てた子供のようで、感概深い記憶が残ります。

資金は、自治会・鳥取市の補助金、五区町内積立金、五区町内皆様の負担金で建設しました。この公民館を、「いいこの場」として、楽しくクリーンに利用していただきたいです。

旧公民館は約七十年間もの間、我々に多くの思い出を残してくれました。旧公民館に感謝感謝です。

五区 区長 芥島寿美

賀露町西浜区 集会所の完成について



この度、西浜町民にとって待望の集会所が完成しました。事業期間として三年を要しましたが、町内会を立ち上げてから二十三年目にして自前の集会所を持つことができました。

木造平屋建て、床面積七十一㎡（二・五坪）、総事業費二一四〇〇千円の小さな集会所ですが、今後は町内会活動の拠点として活用していく所存です。

ここに、集会所新築工事にご支援を頂いた賀露町自治会及び関係者の皆さまに御礼申し上げます。

西浜区 区長 石黒 智

賀露町の人口・世帯数



〈高齢化率〉

人口のうち65才以上の割合（14%以上が高齢社会）
賀露町 27.25%

〈年少人口〉778人

人口のうち0～14才の割合
賀露町 15%

〈年代別人口〉

才	人	才	人
0～9	497	50～59	605
10～19	531	60～69	684
20～29	473	70～79	558
30～39	640	80～89	366
40～49	697	90～	185

平成30年12月31日現在 住民登録の集計より
これは市独自の集計であり、総務省の結果と異なることがあります

社会福祉協議会

福祉事業・活動を通じて、みなさまの人生の充実を

今年度は、新役員のもと、今まで積み重ねてきた福祉事業をもとに、新しい事業を追加しながらみなさまに情報を提供し活動の見える化を行いました。

また、みなさまとの情報共有化により、地区社協活動への理解を念願してきました。

来年度は、新しい活動や未実施の福祉事業を模索して、賀露町内の福祉充実を追求していきます。

(会長 芥島寿美)

《平成三十三年度 主な行事》

○ふれあい型食事サービス



男の料理教室



ふれあいデイサービス (若桜駅前)

○ふれあいデイサービス

○男の料理教室

○地域福祉研修会

○ふれあいいきいきサロン

○地区社協ニュース発行

○広報誌「ぬくもり」発行

《平成三十三年 役員》

会長 芥島寿美

副会長 石黒郁子・山根滋子

常務委員 泡田秀美・雁津敏明

松田順子(会計)

監事 浜下美子・小谷 拓

理事 石黒正男・石黒督清

加納恵子・浜本 進

木島照美・綱田喜一

西村節子・辻井 清

藤田崇志・中嶋康登

(雁津敏明)・大黒 進

古網文子(山根滋子)

老人クラブ

それでも歩きつづける

今年度の活動も関係団体等の協力をいただきながら終わった。

時の流れとともに、人々の生き様も多様化がすすむ昨今、老人クラブの活動にも不協和音が聞かれるようになった。ここで

「活動目標」と聞こえる課題の掲載を願ひ、老人クラブの活性に向けての御支援と会員の発憤を促したい。

老人クラブの活動目標要旨

湖東会

(湖東中校区保護司会)

明るい地域社会を目指して

昨年と同様、判り難いので最初に保護司について説明致します。

保護司とは、非行のある青少年や犯罪を犯した人の立ち直りや社会復帰を地域で支えるボランティアです。法務省管轄の鳥取保護観察所の主導の下で活動しています。又、非行・犯罪の予防活動も行っています。

湖東会は湖東中校区の保護司十三名の集まりで主に非行・犯罪防止の活動を行っています。

「生きがいや健康づくりを目指す楽しい活動を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の他団体とも共同して社会活動にも取り組み、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に努めること」といひかさま教条的な文言が羅列されている様だが、

一応目標達成に努めて来た。次に、聞こえる不協和音を羅列しておく。

・各単老とも入会者が少ない。
・入るとすぐ役員をさせられる
・会議や研修が多く、イヤだ。
・記録とか報告事務がイヤだ。
・単老の役員が無い解散だ 等

賀露地区での今年度の活動としては昨年とほぼ同様に、①湖東グリーンゾーン賀露支部の一員として賀露小学校、湖東中学校生徒への朝のあいさつ運動、②鳥取保護観察所からの依頼で、賀露海岸清掃活動(四月から十月)にかけ四回、保護観察対象者の保護観察・指導、などを行っています。④今年度よりまちづくり協議会の一員として参加させて頂き、「賀露町の課題を語る会」にも参加しています。少しでもお役に立てればと考えています。

他に、湖東中校区としての活

《平成三十三年 主な活動》

・公民館周辺清掃(春・秋)

・いきいき健康GG大会(春秋)

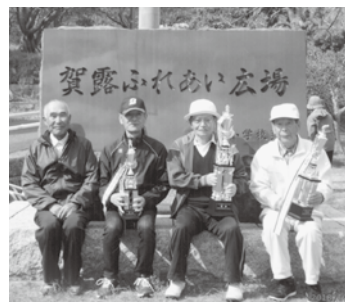
・健康講演会(共催)

・会員親睦・交流レク

・世代間交流スポーツ大会(共催)

・市老連・芸能大会(参加)

(会長 岸下喜八郎)



いきいき健康グラウンド大会 成績上位者

動では、①月1回の湖東中校門でのあいさつ運動②湖山西小学校六年生対象の「寺子屋」(春・夏・冬の各休みでの鳥大生による学習支援)③青少年の非行防止を目的とした事例研究会を江山中校区で開催④民生児童委員等湖山西地区)の地域関係機関との交流会、等を行っています。

今後とも宜しくお願い致します。

(文責 景山 隆)

賀露地区保護司

雁津敏明 七区

景山 隆 三区

千代水地区保護司

平木孝夫 晩稲



民生児童委員協議会

賀露地区子ども見守り隊

賀露町では、学校安全ボランティアや小学校教育振興会の他、子ども助成会、老人会、湖東グリーンゾーン、交通安全協会など多くの団体が子どもたちの見守りをされていますが、子どもたちの安全が脅かされる現代社会では、より多くの目で見守ることが必要になってきています。

そこで、特に登下校時の子どもたちを見守るため、現在の体制に加えてより厚く町民の方々の協力を得て「活動が膨れたら」という願いのもとに、昨年九月、まちづくり協議会の組織として、正式に「賀露地区子ども見守り隊」(世話団体: 民生児童委員協議会)を立ち上げました。

活動内容は、都合のつく日、都合のつく時間帯に、「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「気をつけて帰ろうね」など、登下校時の子どもたちへの声掛けです。

ご参加いただける方にはベストと横断旗をお渡しします。多くの皆様のご参加をお待ちしています。(会長 大黒 進)

《平成三十一年度 主な活動》

- 定例会(月一回)
- 子ども見守り活動

- 高齢者介護施設等訪問研修
- 県・市民児協研修会等参加
- 他地区民児協との交流
- 湖東ブロック各学校連絡会
- 社協事業協力
- (ミニデー、配食ボランティア等)
- 公民館事業協力
- (かるっこ塾、折り紙教室等)
- 赤い羽根共同募金活動等

《平成三十一年度 役員》

- 一区 濱下 美子
- 二・三区 ◎大黒 進
- 四区 宮本 清
- 五区 △田中 元美
- 六区 ◇網本 孝子
- 七区 田中 浩司
- 八区 福本 規子
- 上浜 小林 真紀
- 主任児童委員 ○今嶋 三郎
- ※注1 ◎会長、○副会長、▽会計、◇監事
- ※注2 民生委員・児童委員の任期は平成31年11月30日まで
- ※注3 七区担当の田中浩司さんは、平成31年1月1日



白兔養護学校訪問

環境部

きれいな地域環境を 目指して!

今年度も、恒例となっている春秋の町内一斉清掃、夏には海岸と湖山川河岸の清掃を行いました。夏の清掃を行った七月十五日(日)は、朝から真夏の日差しの中、多くの町民の参加がありました。

この日は一週間前の記録的な大雨の影響で、海岸には多くのゴミが打ち上げられていました。が、参加されたみなさんは大変熱心に清掃され、みちがえるように綺麗になりました。

また、新たにエコバスツアーを企画しました。鳥取市内にあ

る「資源リサイクルセンター」など、再資源化を行っている施設を見学し、身近なごみ問題を見つめ直し、環境にやさしいライフスタイルを考えました。参加者からは、リサイクルセンターで一年間に処理されるゴミの量を聞いて、その多さに驚いたといった意見も出て、あらためて自分のゴミの出し方を点検するなど、有意義な見学会となりました。

今年度の環境部活動は、町民の皆さまのご協力により無事終了することができました。引き続き、町民の皆さまとともに、クリーンな街づくりに向け、環境美化活動の一層の推進に努めていきたいと思っております。

乗って巧みに暗証番号を聞き出し、カードを預かり、口座から現金を引き出す手口です。警察や銀行員が相手の暗証番号を聞くことは絶対ありません。それは詐欺です。気をつけて下さい。あやしい電話があったら、警察総合相談電話#91110 鳥取警察署27-91110へ電話して下さい。(会長 川上賢一)

防犯協議会

特殊詐欺に気をつけよう

昨年は賀露町内において大きな事件事故もなく防犯活動においても異常はありませんでした。気になるのは、マスクミで報道される特殊詐欺です。年々巧妙になり、電話ばかりではなく、スマホ、ネット、ITを巧みに使い高齢者ばかりでなく若い人も詐欺にかかっているようです。最近多いのは、警察、銀行を名

《年間活動》

- 春秋の一斉清掃
- 賀露海岸、湖山川河岸の清掃
- 環境学習(エコバスツアー)
- 町内ごみステーション点検
- 公民館祭活動パネル出展



環境学習エコバスツアー

- 四月 あいさつ運動
- 七月～十月 ノボリ旗設置
- 湖東グリーンゾーン
- 町内声掛巡回パトロール
- 町内声掛巡回パトロール
- 町内巡回パトロール

《平成三十一年度 役員》

- 会長 川上賢一
- 副会長 宮本敏明
- 会計 植木嘉朗



婦人会

楽しい婦人会を

目指して！

賀露婦人会を、油谷会長から引き継いで一年、何が出来ただろうか、右往左往するばかりでまとめる難しさを、改めて思い知りました。『楽しい婦人会』ってなんだろう、集いやすい会にするには、どうすればいいのか、考えれば考えるほど分からなくなりません。そんな中、ものづくりに研修を、楽しみにしてただ、嬉しい」と言ってくれた方がありました。仕方なく参加されている方もあるかもしれませんが、一人でも笑顔で帰って頂けたのなら、それが『楽しい婦人会』かなと思えました。

色々な問題を抱えている婦人会です。会員数の減少、役員となり手不足など、だからといって、婦人会を無くしても良いとは思えません。いつ何が起こるか分からない昨今、婦人の力が必要になった時、中心になれるのは、やはり婦人会だと思えます。会員の皆さまや、町内の皆さまのご協力なしには、成り立たないことも多々出てくると思います。どうか、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。(会長 外山照野)

《平成三十年度 主な活動》

- 婦人会総会
- 古紙回収 年三回
- 校区民運動会参加協力
- 役員研修 光澤寺
- おやつ作り
- 海岸清掃
- おはぎ作り 配食サービス
- ものづくり 研修デコパージュ
- 公民館祭 作品展示協力
- 市民体育祭協力
- 役員研修 防災時調理実習
- 町内駅伝大会協力
- 各部研修
- 【体育部】女性体操
- 【環境部】つまみ細工で正月飾り
- 【生活部】検診結果の見方
- 【子供助成部】ハーバリウム

《平成三十年度 役員》

- 会長 外山照野
- 副会長 岸 多津・中村恭子
- 濱谷光栄
- 山根陽子
- 会計



役員研修(光澤寺)

食育推進委員会

家庭からはじまる

食育の輪

私達は生活習慣病予防や減塩メニューなどバランスの良い食事・子供向け料理などを栄養士さんに指導して頂き町民の方に伝達しています。二十八年度県民栄養調査で朝食の欠食率が多いとのこと今年度は手軽に出来る料理を伝達しました。

伝達メニュー

- 手軽に朝食
- ツナしそしょうがご飯
- 元気のはじまり朝ごはん
- ふりかけチャーハン

◎災害時にも一工夫

乾物エコにゆうめん

これからも健康に役立つ、料理や調理方法を伝えていきますので、一人でも多くの方の参加を、お待ちしております。

《平成三十年度 主な活動》

- 伝達講習(七回)
- かるっこ塾
- 昼食の手伝い(三日間)
- 公民館祭 (試食配布)
- 豆乳もち(活動パネル)
- まちづくり(いっしょにあそばあや)
- 昼食(カレースープ他)
- 食育研修会
- 福部(かきもち作り他)
- 小学校米料理

・中ノ郷小学校 一回
・賀露小学校 二回

《平成三十年度 役員》

- 会長 中谷 順子
- 会計 岸 秀子



元気のはじまり朝ごはん(小学生対象)

消防団



被災されています。大きな被害をもたらす激甚災害に指示される様な災害も増えています。

《平成三十一年度 活動予定》

- 一月 消防出初め式
 - 三月 春の火災予防運動
 - 四月 新入団員入団式 研修
 - 六月 鳥取市消防操法大会
 - 七月 水防訓練
 - 八月 夜間訓練
 - 九月 鳥取市防災訓練
 - 十一月 秋の火災予防運動
 - 十二月 年末特別警戒
- 《平成三十年度 役員》
- 団 長 清水 利雄
 - 副分団長 網師 信男
 - 部 長 網田 鉄也

平成三十年一年間、賀露町内で建物火災が一件も発生しませんでした。これも偏に皆様の日頃の防災に関する意識の高さから来るものと思います。今後も火災ゼロが続く事を願います。火の取扱いは十分注意をしてください。

最近では自然現象(大雨、強風、台風、地震、大雪等々)に因る災害発生で日本各地で多くの方が

被災されています。大きな被害をもたらす激甚災害に指示される様な災害も増えています。

(清水利雄)

健康づくり推進員会

特定健診とがん検診のダブル受診を！

幸せな生活の基本は心身共に健康であることと考え、市民の健康づくりのお手伝いができるようにと努めてきました。

「人生百年」といわれ長生きができる時代となりましたが、それでも平均寿命と健康寿命の間には、十年前後の隔たりがあります。その差をできるだけ縮めるよう、「生活習慣を見直し、がん検診を受け、体をこまめに動かして、寝たきりを防ぐ」ことが活動のねらいです。

何か不都合が生じてすでに病院やクリニックに通院している人が、「病院で治療したり時々検査を受けたりしているから、健診は受けなくてもよい」と思い込んでいる場合が、かなり多いと指摘されています。



健康ウォーク

特定健診は生活習慣病について、がん検診はがんについて、自分では気づかない病気を早期発見するための取り組みです。定期通院の場面だけで、全てを診てもらったと思うのは危険ですので、ぜひ、かかりつけ医に相談しましょう。

(会長 石黒幸子)

《平成三十年度 主な活動》

- 新年度総会 四月
- 健康ウォーク 五月
- 健康講演会 七月
- 健康員研修会 九月
- 湖東ブロック研修会 九月
- 公民館祭「健康ひろば」 十月
- 集団検診 十一月
- 国保特定健診結果説明会 十二月
- 料理講習会 一月

《平成三十年度 役員》

- 会長 石黒 幸子
- 副会長 中村 朱美
- 菊川 里江
- 会 計 田中美賀江



集団検診

体育会

誇れる賀露町！

昭和三十三年に、市民の体力増進・健康な生活づくりにと始まった市民体育祭。賀露地区も第一回より途切れることなく参加し、六十一回目の平成三十年度は、陸上大会にて二十三年ぶり二度目の優勝を果たすなど、好成績を収めました。(全種目総合成績：Aグループ第四位)これもひとえに、選手の皆様、又、その選手を集めてくださった方々、大切な休日に選手として参加する家族を支えてくださったるご家族、準備や応援で支援していただいた役員様。賀露町住民の皆さまの御蔭です。本当に有難うございました。

賀露町では、地域住民の健康増進と、市民体育祭の選手発掘の両面から、全十二種目ものスポーツ競技を実施しています。これは、市民体育祭同様に、全国的にも珍しく、全国に誇れるスポーツイベントです。

近年では、今まで参加の少なかった区などの参加が増え、益々盛り上がり、スポーツ以外の場面でも交流が生まれるなど、地域の繋がりが強化されています。他にも「校区民大運動会」や、「いっしょにあそばあや」での異

年齢交流イベントでの、ニュースポーツの運営など、これからも体育会は、地域の絆を深め、賀露地区の発展に努めるよう活動してまいりますので、町民の皆様、各種大会への参加等、ご協力よろしく願います。

(理事長 伏野 久)

《平成三十年度 役員》

- 会長 島谷 龍司
- 副会長 網田 正
- 理事 濱橋 喜幸
- 西村 毅
- 伏野 久
- 米村 忠人
- 玉江 克彦
- 香川 卓己
- 林 克彦
- 竹野 義昭



市民体育祭陸上大会 (優勝)



地区水泳大会

市民体育祭成績 総合成績 (Aグループ)

優勝	岩倉	3位	浜坂
2位	美保	4位	賀露

◎陸上(優勝)

◎ゲートボール・バスケット・水泳・男子バレー (3位)

地区大会総合成績

本年度総合順位	地区大会優勝区		
優勝 1区	バスケットボール 8区	グラウンドゴルフ 2区	
2位 6区	卓球 6区	野球 中止	
3位 4区	バドミントン 1区	綱引き 4区	
	バレーボール 1区	水泳 6区	
	ソフトボール 1区	ソフトテニス 1区	
	ゲートボール 7区	駅伝 中止	

駐在所より

みんなが笑顔で暮らせる賀露をめざして

賀露駐在所 綾木 将治



平成30年度より賀露駐在所に赴任し、早1年が過ぎようとしています。

賀露駐在所に赴任が決定したときは、初めての駐在所勤務ということもあり、緊張していました。しかし、いざ赴任してみると、地区住民の皆様の温かい支えにより、すぐに地域に溶け込むことができ、現在は充実した日々を送ることができています。

さて、以前から不審電話、不審メール等の特殊詐欺相談が数多く寄せられています。最近は、「訴訟最終告知のお知らせ」という特殊詐欺のハガキが蔓延し、実際に金銭を騙し取られた事案も発生しています。そのようなハガキは詐欺です！全員が一丸となり、「そのようなハガキは詐欺だ！」と周知を徹底して、被害防止に努めていきましょう。そして、みんなが笑顔で安心して暮らせる賀露にしていきたいと思います。困りごとなどありましたら、気軽に駐在所にお越し下さい。

安全安心な「賀露」をめざし、皆様のご協力をお願いします。

交通安全



全ての座席でシートベルトの着用を

日頃、交通安全活動に多大なる理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、平成十九年六月に「改正道路交通法」が成立し、翌年六月から、従来「努めなければならぬ」とされていた後部座席のシートベルト着用が、運転席・助手席と同様に義務化されました。特に、高速道路での違反は加重点象となっています。

平成三十年十月に、警察庁と日本自動車連盟(JAF)が行った、シートベルトの着用率の調査では、鳥取県内は一般道路での後部座席着用率が三三・二%にとどまり、全国平均の三

八・〇%を大きく下回ったことが明らかにになりました。平成二十七年以降は、低下傾向が続いています。

平成二十九年中のシートベルト非着用時の致死率(死傷者数に占める死者数の割合)は、着用時の場合の約一・五、三倍高くなっております。

大切な皆様の生命、財産を守るためにも、全ての座席でシートベルト着用をはじめ、日頃の交通安全意識の向上に努めていただきますようよろしくお願い申し上げます。

(会長 雲坂 衛)

《平成三十一年の交通安全運動期間(予定)》

春 5月11日(土)～5月20日(月)
夏 7月11日(木)～7月20日(土)
秋 9月21日(土)～9月30日(月)
年末 12月12日(木)～12月21日(土)

《平成三十年度 主な活動報告》

- 開始式・パレード参加
- ミニパトでの町内巡回
- のぼり旗掲揚
- 違法駐車等の夜間パトロール
- 交通安全啓発活動
(二区点滅信号、わったいな広場前)
- 交通安全講習会の実施
- 通学路でのあいさつ運動
- 道路の安全点検見回り
- 足型・白線の塗り直し
- 高齢者自転車鳥取地区大会参加等

《平成三十年度 役員》

支 部 長 雲坂 衛
副支部長 古網多賀司・島田晴彦
石黒正男



足型ペンキ塗り

湖東グリーンゾーン 賀露支部

すべての子どもの非行防止と健全育成を図るをスローガンに巡回活動・あいさつ運動・親子ふれあい海岸清掃や研修会などを実施し地域の各種団体や保護者の皆様と連携を図り活動を推進することが出来ました。

五月の総会では、市教育委員会スクールソーシャルワーカーの影井政春氏が「地域で見守り支える青少年健全育成」と題して講演され、登下校時や地域行事などを通じ子どもたちと顔見知りになり挨拶をかわすなど絆を深め地域全体で見守り支えることの大切さを話されました。

賀露地区人権啓発 推進協議会

九月十八日、地域の皆様と一緒に広島平和記念公園を訪れました。ボランティアの案内で負の世界遺産である原爆ドーム、供養塔、原爆の子の像、慰霊碑等と資料館を見学しました。

一九四五年八月六日、世界で初めて原子爆弾が投下され五六万人が被爆し、いまま毎年五千人が原爆の後遺症で亡くなっているそうです。一発の原子爆弾により無差別に多くの命と未来を奪われた広島を核と恒久平和実現への深い思いを知りました。二〇一七年七

九月の小学生対象あいさつ運動では、四地区(末恒・湖山・湖山西・賀露)一斉に活動を展開する試みがあり湖東ブロックの連携が図られました。

時代の変化に対応しながらこれからも子どもたちの健全育成を支える団体として皆様に支え



賀露小学校あいさつ運動

て頂き地域とともに活動することを大切にして行きたいと思っています。

《平成三十年度 役員》
会 長 山根 一記
副会長 奈良井大輔・加藤 昭義
川上 賢一



中学校あいさつ運動

《平成三十年度 役員》

会 長 山根 一記
副会長 深澤修一
推進員 濱中千景・網師かよ子
泡田秀美・森原すみ子



広島平和記念公園 参加者27名

(濱中千景)

鳥取・ 賀露みなとオアシス

猛暑！人気のカヌー体験 ヨットクルージング

鳥取砂丘コナン空港と鳥取港を結ぶ、県道鳥取空港賀露線が三月十日開通し、賀露地域はさらに賑わいが増した一年でした。

オアシスは今年も、四月の「山陰ジオパーク」湖山池めぐり」からはじまり、賀露を訪れる人に、海の美しさ・楽しさを体験したり、海の幸の美味しさを味わっていただく活動を実施しました。

今年も猛暑だったせいか、カヌー体験とヨットクルージングに定員以上の希望がありました。熱中症を心配ながらの実施でしたが、湖山池の涼風と、日本海の潮風に、暑さを忘れて楽しむことができました。

これからも海や港周辺を利用して、楽しく集える活動をしていきたいと思っています。

(広沢京子)



日本海をヨットでクルージング

《平成三十年度 主な活動》

○レインボー入港協力 四月
○山陰ジオパーク

○湖山池めぐり 四・五月
○鳥取港発着山陰ジオパーク
西因幡クルージング 五月

○鳥取・賀露みなとオアシス
夏まつり二〇一八 七月

○「賀露白いか祭り」協力
・潮風をうけてカヌー体験

○日本海をヨットでクルージング 八月
○みなと公園 港湾緑地
周辺の清掃活動 年間

《平成三十年度 役員》
会 長 古網多賀司
副会長 澤 猛男・山根滋子
広沢京子



潮風をうけてカヌー体験 賀露～湖山川～湖山池へ

賀露みなと観光協会

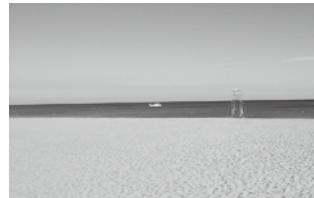
賀露みなと海水浴場 開催にあたって

七月の西日本豪雨により、賀露海岸に多くの流木が流着しました。海開きを延期しないといけないかと思っておりましたが、関係団体・町内の皆様のご協力のもと、海岸清掃が行われ無事予定通り海開きを開催することができました。ご協力頂いた皆様には、お礼を申し上げます。

さて、今年度の海水浴ですが、比較的天候に恵まれましたが利用客は少なく前年度より約二〇〇名減となりました。要因とし

ては、①開催前の西日本豪雨の影響により県外(岡山方面)の利用客が自粛傾向にあり減少②猛暑日が続いたため外出を控える傾向等が考えられます。年々利用客が減ってきていることもあり、今後の課題となっております。

そして、数年前に比べ、全国的に海水浴場の閉鎖も増えており、鳥取県内でも砂浜の浸食により海岸が狭くなり開催が危ぶまれています。



賀露みなと海水浴場

る箇所がある中で、賀露の海水浴場は砂浜も広く立地環境も良く恵まれています。鳥取の海水浴といえば賀露」と言ってもらえるように、今後も守ってきたいものです。

また、鳥取砂丘コナン空港賀露線の開通に伴い賀露地区がますます活気を帯びていくことと
思います。

《平成三十年度 役員》

会 長 浜下哲爾
副会長 中村俊介・山田将司

●海水浴開催期間
7月14日から8月19日

●7月16日 白いか祭り開催
4400人來場

賀露文化保存会

加路台場のこと

賀露文化保存会は、賀露神社と共催で、県埋蔵文化財センターの出前講座を昨年十一月二十五日に開催致しました。

「幕末の海防と鳥取藩台場」と題して、県埋蔵文化財センター発掘事業室の松井室長を講師に、全国規模のお話を聞きました。

●台場築造の時代背景

鎖国政策をとっている日本の沿海に、ロシア船・イギリス船等が出没し、寛永六年にはアメ

リカのペリーが来航し通商条約の締結を要求してきたため、幕府は急ぎよ、江戸湾と大阪湾を中心に、各地に台場を作り海防に努めた。鳥取藩も幕府から大阪湾・江戸湾の沿岸警備の命を受け担当した。

●鳥取藩の海防対策

天保から安政年間にかけて、遠見番所に大筒を配備し、西洋流砲術を訓練した。

文久三年(二八六三)



加路台場 絵図

には、藩内八ヶ所(因幡国三ヶ所、伯耆国五ヶ所、浦富・浜坂・加路・橋津・由良・赤崎・淀江・境)に台場築造に着手した。この内浦富と由良の台場が国史跡として現存する。

●加路台場は二ヶ所

加路には城下防備の目的で、元治元年(一八六三)東浜に一基と西浜に一基造られたとの記録があるが、幕末の絵図には、西浜に三稜と五稜の台場二基が描かれている。このうち一基は現駐在所付近であり、もう一基の跡は不明のままである。

(文責 岡村吉明)

子ども会助成会

一年間の活動を振り返って

子ども助成会では、みなさまの協力を得ながら、子どもたちの健全育成ならびに健康で明るい『まちづくり』に寄与していくことに心がけ、活動を展開してきました。

三月には、六年生を送る会をボーリング場で行い、ゲーム中の子どもたちの楽しそうな顔を見たら、『やって良かったな』と感じた行事でした。六月の『古紙回収』、七月の『賀露海岸一斉清掃』は、賀露小学校の先生方にも協力を得ながら行いました。海岸清掃は、豪雨あとで大きな流木等は、事前に集められていたとはいえ、昨年よりごみが多かったように思いました。リサイクルや環境問題等について考えるきっかけになったかと思えます。九月には、賀露神社において『秋祭り奉納相撲』を行いました。ここ近年、参加者が少なかつたことから今年、参加できる学年を下げ



6年生を送る会 ボーリング

たことや各区の部長さんの熱心な呼びかけにより、参加者が昨年より増え、見応えある相撲となりました。伝統行事等を絶やさず継承していく事が、改めて大切だと思えました。十月の公民館祭は、プラバンキーホルダー作り、かさ袋ロケット、ポックンで参加し、子どもたちに好評で大盛況のうちに終わりました。十一月には、まちづくり協議会の『いっしょにあそばあや』を他団体と一緒にやって行いました。高齢者の方と一緒にニユースポーツを楽しみ、お昼ご飯を食べながらの会話等、とても楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、今後も町内のみならず、まのご支援・ご協力を得ながら、子どもたちの健全育成ならびに健康で明るい『まちづくり』を常に心がけた活動を展開していきたいと思えます。

(文責 田中正広)

《平成三十年度 主な活動》

- 六年生を送る会
- 古紙回収
- 海岸清掃
- 秋祭り奉納相撲大会
- 公民館祭
- 世代間交流

《平成三十年度 役員》

- 会長 田中正広
副会長 山崎 幸・今嶋裕子
事務局 濱口真弓

小学校 教育振興会

地域社会との

繋がりを大切に

会長 加藤昭義

平成三十年度は、役員の任期を設定し、毎年新しい役員が半数入れ替わる事とした規約の改正が実施される初年度となりました。役員の選出もスムーズに進み、手探りですが振興会の運営を進めてこられました。

主な活動としては、長年、登下校時に子供たちを見守っていただいているボランティアの方に感謝状を贈る試みを進めています。このように保護者の方をはじめ、地域社会と連携して子供たち



ボランティアに見守られ元気に登校

ちのより良い生活環境を構築していく事に重点を置いて何ができるのか模索をしています。来年度に向けての課題も多数ありますが、役員をはじめ保護者の方々のご協力を得て、何よりも

まず子供の為に何ができるのかを考えて会の運営を行って参りたいと思えます。

《平成三十年度 役員》

- 会長 加藤 昭義
副会長 蔦尾 和久
香川 邦彦
歳岡 洋
加藤真由美
岡田 純弥
庶務幹事 松本 大
今嶋 裕子
学年生活委員長 渡辺 太巳
保健体育委員長 大久保ゆかり
広報委員長 坂本 彩葉
人権教育推進委員長 難波 恵
地区理事長 徳田麻里絵

湖東中学校

故郷を誇りに思う生徒

湖東中学校生徒指導主事

平本 光利

湖東中学校が目指す生徒像の一つに、「故郷を誇りに思う生徒」があります。その実現に向け様々な教育活動を推進しています。生徒会は「地域とのつながり」を重視した活動を企画・実施しました。本年度も賀露地区の運動会に役員で参加させていただいたり、海岸の清掃活動や地域のあいさつ運動に地域の方々と共に参加させていただいたりしました。地域

に出かけ、地域の方々と交流を深める経験が「故郷を誇りに思う」心情を育てることや子どもたちの成長につながっていくことを期待しています。

現在、子どもたちを取り巻く環境は複雑化しており、学校と地域の連携の重要性が指摘されます。子どもたちが地域に向き、顔の見えるコミュニケーションを図り地域の方々と絆を深めていくことは、学校を含めた地域全体で子どもたちが抱える様々な問題を解消していくことの礎となるのではないかと思います。今後も生徒の地域活動への積

極的な参加・参画を通して、地域を支える人材育成や「故郷を誇りに思う生徒」の育成を推進していきたいと思えます。



賀露海岸清掃

賀露小学校

賀露健児の育成は

地域ぐるみで！

賀露小学校校長 岸本 順一

賀露小学校では、本年度「地域創造学校運営協議会」を立ち上げることができました。深澤修一会長、山根一記副会長、今嶋三郎副会長をはじめ委員の皆さまには、たいへんお世話になります。

鳥取市のめざす子ども像は、「ふるさとを思い 志をもつ子」です。賀露小学校の教育目標は、「生き生きとした賀露健児の育成」です。そして、将来の賀露地区を担う子どもたちを、学校、保護者、地域が一体となって総がかりで育成し、「賀露の町や人を大切にする賀露健児を育てたい」という願いの下に発足したのが、この

「地域創造学校運営協議会」です。

第一回では、学校の教育目標や経営方針等を説明し、委員の皆様にご承認いただくと共に、学校教育活動へのご意見や日頃感じてもらえる子どもたちへの思いをお聞かせいただきました。予定時間を超えての会となり、委員の皆様や学校や子どもたちに対する強い愛情、期待、熱意等をひしひしと感じさせていただきました。

第二回では、まず全国学力・学習状況調査の結果や保護者アンケートの結果をご報告させていただきました。次に、「自己肯定感

を高める」というキーワードとあわせて、今学校が課題と捉えていることや難しさを感じていること等をお伝えした後、今後の取り組みに向けて三グループに分かれての「熟議」の時間をもたせていただきました。

次回の第三回では、それぞれが取り組むべき具体的な活動について考えたいと思っています。来年度以降は、この「地域創造学校運営協議会」を核としながら、より多くの皆さまに参画していただける組織づく

りを進めていければと思います。 [校章] 児童の共同制作



[校章] 児童の共同制作

賀露保育園

賀露こすてきー！

賀露保育園園長 西田智恵子

海、公園、神社、園庭や園周辺の豊かな環境を活用した保育に取り組んでいます。裸足で園庭の芝生の感触を味わったり近隣を散歩したり、近くの公園で草花や虫を見つめるなど身近な自然に日頃からたくさん触れ、季節を感じ五感を使って様々な体験をしています。また、刺激的な自然の中で心も体もたくましくなっています。自然はワンダーランドです。子どもたちの成長を後押ししてくれます。

賀露といえば海、素敵な海が

あります。海遊びを体験したいという強い思いが保護者の気持ち揺り動かし、保護者さんの協力のもと実現しました。七月十一日は子ども達にとって思い出に残る一日になりました。素晴らしい天気にも恵まれ開放感いっぱい、のびのびと楽しい経験となりました。自然と笑顔が出ます。楽しくてキヤーカー大きな声が海に響きます。力いっぱい遊んだ後は、おなかもぺこぺこ、持ってきたおにぎりを大きな口でぱくつく。海で食べたおにぎりは格別おいしかったです。

近年、自然は、たくさんあるのに危険を避けて、いろいろなことが取りやめになっていく



海で楽しく遊んだよ (賀露海水浴場にて)

賀露みどり保育園

暑さに負けない！

子供達の為にできることを

保護者会長 小西 伸治

賀露みどり保育園では、子供達の想い出に残るよう、様々な年間行事を行っています。昨年は全国的にニユースになるほどの異常気象に見舞われ、特に夏場は記録的な猛暑となりました。ここでは、年間行事の紹介を通じて、賀露みどり保育園の取り組みを紹介できればと思います。

年間行事として、五月に親子遠足。七月の夕涼み会は記録的猛暑につき、子供達の体調を考えたやむを得ず中止としました。

代わりに何か思い出作りをと、十一月の作品展の際にジュースと軽食を出してみました。普段保育園では、子供達だけで食べる昼食がお父さんやお母さん、兄弟姉妹で仲良く食べる昼食となり、可愛い笑顔が沢山見られました。十月は運動会。十二月は生活発表会を行いました。二月には賀露みどり保育園が最も力を入れている音楽発表会があり

ます。その他、畑で夏野菜やらっきょうを育てたりもしますがとにかく猛暑だった昨年の夏、らっきょうの植え付けは保護者にて行い、子供達の外出時間を短くするべく、プランターにらっきょう植えを行い、冬場にエシャレットとして収穫して楽しめるようにしました。災害レベルの暑さだったにも関わらず、無事に過ごせたのも、地域の方々、先生、保護者の皆様のおかげだと思えます。今後も地域の方々、保護者の皆様の意見を基に、子供達にとって最高の環境

で成長してもらえらる様に頑張っていきます。皆様のご支援、ご協力の程、宜しくお願い致します。



作品展の後、ミニオンと一緒に「ハイ、ポーズ」

集い学びつながる公民館

第40回 公民館祭

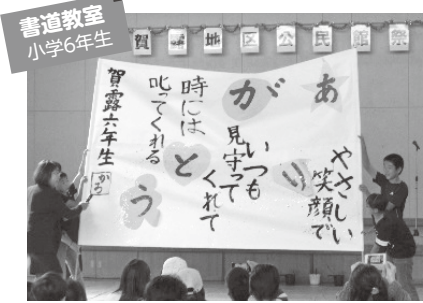
本年度は第四十回公民館祭を記念して公民館活動サークル等による芸能発表、書道教室小学生による書道パフォーマンス、大学生企画(若者まちづくり事業)の大抽選会など多彩なイベントがおこなわれました。町民のみなさまのご協力のもと大盛況のうちに終わりました。



大抽選会 わたしに、当たってー!



楽しい民踊 平均年齢70歳近く...?めざせ、生涯現役



書道パフォーマンス かつこよく、書きあげたで!

〈出演団体〉
伝承芸能保存会・松露詩吟の会
コーラス・書道・3B体操・
楽しい民踊・二社会
〈感想〉
● 四十周年記念行事は、見物客も多く、目新しい発表が見えて良かったです。
● 演技を皆さんに披露し、また頑張ろうと励みになりました。
● 懐かしい友に出会えて嬉しかったです。

今年度より
公民館だより毎月発行
ホームページ毎月更新!



焼きそば うまいで!! (上小路神社 獅子舞連)



体験コーナー (子ども会助成会)



作品展示



郷土芸術展
山川彰 木彫り展
宮根 繁雄さん (8区)
県産材の智頭杉を使った作品

公民館活動を振り返って

この一年の公民館活動を振り返ってみますと、平成三十年度は「公民館祭」が第四十回の節目を迎え、記念事業として十月開催の公民館祭りにおいて芸能発表会を地区体育館で開催しました。

伝承芸能保存会、マリンコーラス、詩吟の会、3B体操など各サークルからはそれぞれ魅力的な演目が披露されるとともに、地区から二社会に参加いただき、素晴らしい歌と踊りを披露していただきました。さらに書道教室による書道パフォーマンスが行われ、力強い作品を創作していただきました。この度の記念事業では、企画段階から鳥大生の協力を得ると共に、地域の沢山の方にご協力いただきました。盛大な芸能発表会が開催できましたこと深く感謝申し上げます。

公民館活動の主要な事業としての「子どもと大人のふれあい事業」では、冒険さちや夏休みかろっこ塾など本年度も多くの皆様にボランティアとしてご協力いただきました。中でもかろっこ塾では、環境部さん

のご協力で環境施設見学会、「エコバスツアー」を実施、また民児協さんによる「民生さんの日」など新たな取り組みも行われました。

続いて「特色ある公民館活動」では、心豊かな子育て事業として本年度も親子教室をメイン事業に位置づけ、乳児学級(十六回)、幼児学級(二十一回)を開催しました。さらに「人権啓発推進事業」では、広島平和記念公園に向き、二〇一七年四月リニューアルされたばかりの原爆記念資料館(東館)を見学しました。また「地域の仲間づくり事業」では、鳥取の水道施設の歴史、現状を学ぶため、下水道処理場千代水クリーンセンター、国指定重要文化財旧美歎水源施設、豆乳工場を見学し、水道施設と生活環境を考える環境学習を実施しました。

ところで、賀露小学校では、本年度地域学校運営協議会がスタートしました。教育目標の「生き生きとした賀露健児の育成」を目指すためには、学校・家庭・地域が「子どもは地域の宝、地域の未来」地域の子どもは地域で育てる」という思いを共有し、さらなる連携強化に努めることが大切です。

公民館も学校と地域の連携・協働に向けて活動展開してまいりますので、皆様方のご協力よろしく申し上げます。

館長 山根一記
職員 岸 多津
岸 睦
荒川昌代

